

# しづかん 自然と生きもののこと

①もっとくわしく。  
平成20年版環境・循環型社会白書:P254~276を見てね。

Q13 今日1日、どんな生きものをみつけたかな?

①季節の花やツバメ、カエルやセミを見つけた(5点)

②カラスやスズメ、アリを見つけた(3点)

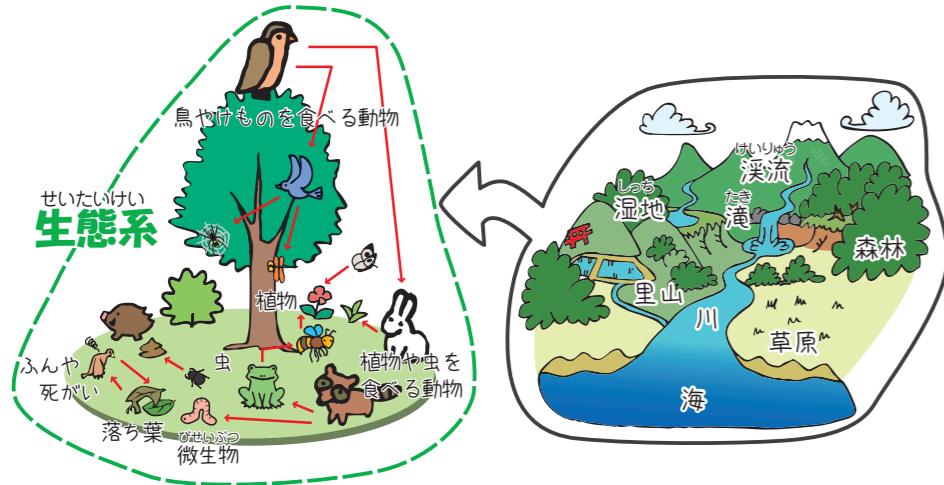
③何も見つけられなかった(0点)

自然の中で生きものたちは、お互いに支え合って生きています。

色々な種類の生きものがお互いに関係して、「生態系」ができあがっています。人間もその一員です。

この中で、一部の生きものがいなってしまうと、生態系はバランスを失い、

他の生きものたちも生きていけなくなります。



① 森、里山、川、海などのいろいろな環境  
が多くの生きものたちのすみかとなっ  
ていて、すべての生きものたちは、お  
互いに食べたり、食べられたりの関係  
(食物連鎖)でつながっています。



現在、絶滅のおそれがある生きものの数が急激に増えています。

大陸の移動や氷河期、生きものどうしの競争などがあり、生きものたちは誕生と絶滅をくり返してきました。  
地球上に生きものが誕生してから40億年の中で、現在の絶滅スピードは過去最速と言われています。

## 【絶滅のおそれがある生きものの種数が多い国・地域】



資料:IUCNレッドリスト(2008年版)をもとに環境省作成

## 【日本にすむ生きものを脅かしている原因】

### ① すみかが壊される

森・川・海などが開発され、  
すみかが消えています。



### ② 里地里山の手入れ不足

人が上手に管理しなくなると、里地  
里山の環境が悪くなってしまって、生きものたちの数が減ってしまいます。



### ③ 外来種の影響

人が他の土地から生きものを持ち込むと、その土地の生きものが追いやりされてしまします。



## エコツーリズムってなに?

地域の自然や歴史、文化を守りながら、  
ふれあい、学ぶことができる観光です。  
参加したみんなが行う体験や取り組みが、  
地域を元気にして、大切な自然などが守ら  
れることにつながります。

みんなもエコツアーに参加してみよう。



火を自分で起こすことで学ぶ、火と木の恵み  
写真:ホールアース自然学校  
© 2007 Whole Earth Nature School. All Rights Reserved.

自然を守ることは、私たちの暮らしを守ることでもあるよね。楽しみながら自然について学んだり、守る活動ができるエコツアーアってすてきね!

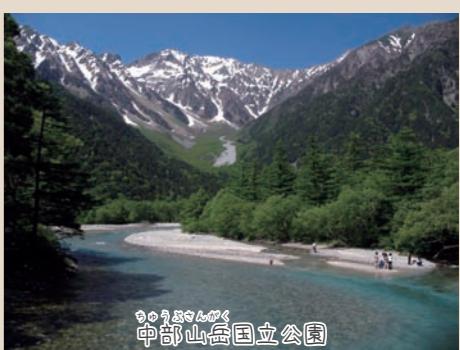
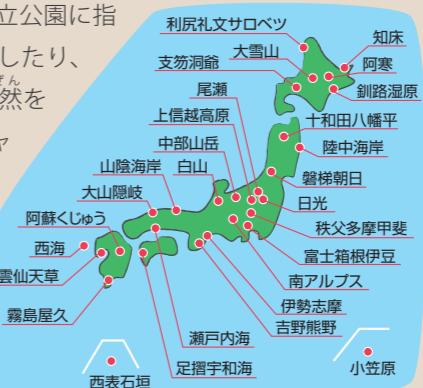


## コラム

### 優れた自然とふれあえる、国立公園に行こう!

日本では、優れた自然のある場所を国が国立公園に指定しています。国立公園内では、開発を規制したり、生きものを守る決まりをつくったりして、自然を保護しています。また、登山、ハイキング、キャンプ、スキー、スノーケリングなど自然とのふれあいを楽しんだり、自然観察などで知識を深められる場所もあります。

家族や友達を誘って、近くの国立公園に行つてみましょう!



平成20年9月現在、全国で29箇所が指定。  
面積の合計は約209万ヘクタール、日本の国土  
面積の約5.5%を占めています。